

学校関係者評価委員会議事録

(学) 国際科学技術学院
前橋東洋医学専門学校

1. 日 時 令和2年7月8日(水) 13:30～14:30
2. 場 所 前橋東洋医学専門学校 5階教室
3. 出席者 (学校関係者) 宮寄捷二 元高等学校教諭
牛込信喜 群馬県柔道整復師会常任理事
牛込接骨院院長
山口勇樹 卒業生
同窓会副会長
かえで接骨院院長
(学校職員) 前川民夫、塚田純一、中澤一紀
福田ひとえ、金子昌亮、小島まさ美

4. 議題

(1) 校長挨拶

3月に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて延期となっていたが、今回実施の運びとなった。関係者の方々のご協力に感謝を述べた。

(2) 自己紹介

(3) 学校概要について

前川校長より学校要覧に基づき校長より、本校の概要を説明した。

(4) 令和元年度自己点検・自己評価報告

学内で評価した「自己点検・自己評価報告書」(別紙)に基づき、現状とその対策を報告した。

(5) 意見、助言等

学校関係者の方々のご意見と助言等を伺った。

(宮寄捷二氏)

方向性や中身についてはある程度理解はできたが、委員としてどのように接したらよいかわからない。

合格率を上げるにはどうしたらいいのか。高校は入学すれば卒業できる現状であり、

その子たちにいかに学習意欲を持たせるかが教職員の重要なところだ。他の先生方とも会話できるよう、論議ができる場を作っていけたらいい。

(牛込信喜氏)

入学者が少ないというのが見える。入学者をいかに増やすことを真剣に考えていくのも一つの手である。スポーツトレーナーを目指して柔道整復の学校を選ぶ学生も増えている。私も日赤で救護活動を行っているが、それを知って柔道整復師を志す人も多い。

(山口勇樹氏)

現状と改善方策ということで改善方法書かれているが、簡単なことはその場でできるような方法を取ったら常に改善できていいのではないかな。

高校生、大学生、スポーツトレーナーを幅広く宣伝できたら、接骨院というカテゴリだけでなくもっとすそ野が広がるのではないかと常に思っている。